

カナダサイエンス ニュース 2003年1月号

科学技術政策

「ハーバード・マウス」に特許権認めず：カナダ最高裁

(2002年12月5日) カナダ最高裁判所はこのほど、いわゆる「ハーバード・マウス」について、マウスのような高等生物には特許権を認めないとの判決を下した。「ハーバード・マウス」は、ハーバード大学が開発した遺伝子操作により進行の早い癌を発症するマウスで、同大学が17年前から特許権を申し立てて議論が繰り広げられてきた。ハーバード・マウスは、ヨーロッパ、日本、アメリカでは特許権が認められている。

記事全文：<http://www.newswire.ca/releases/December2002/05/c0202.html> (英語)

カナダ政府、大学での研究に対する国家助成の基本方針を発表

(2002年11月19日) インダストリー・カナダ(カナダ産業省 <http://www.ic.gc.ca/>) は、カナダ大学協議会(<http://www.aucc.ca/>) とカナダ政府が大学での研究に対する国家助成の基本方針で合意したと発表した。基本方針の一環として、各大学は研究活動を倍増、2010年までに研究成果をもとにした起業件数を3倍にし、さらに大学院レベルの研究者の育成に力をいれることなどが目標として定められた。この基本方針に基づき、カナダ政府は、カナダの大学が技術革新の牽引力となることを目指す。

基本方針合意全文：http://www.aucc.ca/en/briefs/frame_cadre_11_19_02.pdf (英語)

研究助成・新研究プロジェクト

量子コンピュータ研究に大躍進

(2002年11月27日) ウォータールー大学(<http://www.uwaterloo.ca/>) はこのほど量子コンピューティング研究所を正式に発足させた。この研究所は量子力学システムの力を制御することを研究目的とし、カナダのモバイルビジネス企業、リサーチ・イン・モーション(RIM：<http://www.rim.net/>) 創業者であるマイク・ラザリディス氏が600万ドルを寄付して創設された。同氏の寄付は、主に理論的・実験的プロジェクトに投資され、情報処理に使われる量子力学の可能性を探る。この研究所の創設で、カナダの量子コンピューティング研究に一層の拍車がかかることが期待されている。

ウォータールー大学 量子コンピュータ研究所ホームページ：<http://www.iqc.ca/> (英語)

免疫研究に大連携

(2002年11月26日) ゲノムプレーリー(<http://www.genomeprairie.ca/>)、イニメックス・ファーマシューティカル(<http://www.inimexpharma.com/>)、ピクシス・ゲノミックス(<http://www.anigenics.com/>) の3社は、バクテリア等の病原体が、ヒトや動物に感染するメカニズムを研究するための戦略的提携を締結したと発表した。このプロジェクトは病原体による感染症の新たなメカニズムを特定、ヒト、動物の感染症治療薬の開発につなげることを目標としている。

記事全文：<http://www.newswire.ca/releases/November2002/26/c6248.html> (英語)



白血病ゲノミクス研究センターに新助成

(2002年11月19日) サスカチュワン大学 (<http://www.usask.ca/>) はこのほどサスカトゥーン州より40万ドル(約3000万円)の助成を受け、新たに白血病ゲノミクス研究センターを設立する。このセンターは、遺伝子とたんぱく質のパターンが、白血病の症状の寛静、再発、薬剤耐性、生存率などにどのように影響するか研究する。この新研究センターの設立により、サスカチュワンは一層先端研究開発の拠点としての基盤がためが進む。

記事全文 <http://www.gov.sk.ca/newsrel/2002/11/19-884.html> (英語)

新たに123名のリサーチ・チェア任命

(2002年11月8日) カナダ政府が推進するリサーチ・チェア制度は、大学で優れた研究活動を行う研究者にまとまった助成金を与えるものである。このほどカナダ政府は1億3千万ドル(約10億円)を投じ、新たに123名のリサーチ・チェアを任命した。任命は主にオンタリオ州(50名)とケベック州(35名)の大学に集中した。このリサーチ・チェア制度の目標は、2006年までに2000名のリサーチチェアを選出、研究を補助するものである。これまでに746名のチェアが任命されている。

記事全文: <http://www.chairs.gc.ca/english/Media/news/News2002/nov2002.html> (英語)

新フォトニクス研究センター

(2002年11月7日) カナダ国立研究機構(NRC: <http://www.nrc.ca/>)とカールトン大学(<http://www.carleton.ca/>)は共同でオタワにカナダ・フォトニクス・ファブ리케이션・センターを設立する。NRCは、5年にわたり4300万ドル(約32億8700万円)を投資する予定。このセンターで、NRCは地域の技術開発、技術クラスターの発展を促進するとしており、カールトン大学としてはフォトニクス、光学電子デバイスのファブ리케이션施設へのアクセスを得ることになる。

記事全文: http://www.nrc-cnrc.gc.ca/newsroom/news/photronics02_e.html (英語)

慢性病治療研究に690万ドル

(2002年11月1日) カナダ・インスティテュート・オブ・ヘルスリサーチ(CIHR)と関係団体はこのほど、慢性病治療研究に5年にわたり690万ドル(約5億3千万円)を投資すると発表した。6つの新しい研究プロジェクトが発足し、腎機能障害、糖尿病、投薬管理、システム管理などに焦点をあてた研究が進められる予定。

記事全文: http://www.cihr-irsc.gc.ca/news/press_releases/2002/pr-0229_e.shtml (英語)

トロント大学にバイオテクノロジー研究所発足

(2002年10月30日) トロント大学(<http://www.utoronto.ca/>)は340万ドル(約2億6千万円)をかけた応用バイオサイエンス・バイオテクノロジー研究所をオンタリオ州ミシサーガに設立したと正式発表した。同センターは、核磁気共鳴装置(NMR)、双方向通信装置を備えた教室や研究室を持ち、植物学、化学、心理学、動物学などの研究チームがバイオサイエンスの先端研究に専念できる最適の環境となっている。

記事全文: <http://www.newsandevents.utoronto.ca/bin3/021030a.asp> (英語)

研究・技術開発ニュース

小型燃料電池技術に前進

(2002年11月12日) アルバータ州リサーチカウンシルは、独自の小型固定電解質型燃料電池(SOFC)を開発したと発表した。小型燃料電池の開発はカナダでは初の成功例。この燃料電池はラップトップPCや携帯端末などの電源としての使用が期待されている。

記事全文 <http://www.arc.ab.ca/whatsnew/newsreleases/fuelcell.asp> (英語)

トロント大学統合失調症に関する遺伝子発見

(2002年11月12日) トロント大学の研究チームはNogoと呼ばれる新しい遺伝子を発見した。このリスク遺伝子を両親からともに受け継ぐと、統合失調症を発症するリスクが高くなるということがわかっている。この研究では、統合失調症患者の5人に一人がこの遺伝子を持っていることが確認された。統

合失調症の原因はまだ特定されていないものの、このリスク遺伝子の同定はこの病気の解明に大きな一歩となる。

記事全文：<http://www.newsandevents.utoronto.ca/bin3/021030a.asp> (英語)

脳科学研究

(2002年11月4日) ウェスタン・オンタリオ大学 (<http://www.uwo.ca/>) の脳・精神研究センターの研究チームはこのほど、行動と計画をコントロールする部分がヒトの脳の前頭葉にあることを発見した。機能的磁気共鳴画像装置 (fMRI) を用いた実験で、人がある行動を起そうとするときに限り活性化される部分がヒトの脳の前頭葉に存在することがわかった。この研究成果をもとに、同センターは、さらに前頭葉の他の部位の研究を進め、それぞれの機能と相互作用について解明を急ぐ。

記事全文：http://comms.uwo.ca/media/archives/releases/2002/sept_dec/nov4b.htm (英語)

人・ひと

カナダ自然科学・工学研究審議会 (NSERC) 最高賞はオタワ大学教授に授与

(2002年11月25日) カナダ自然科学・工学研究審議会 (NSERC：<http://www.nserc.ca/>) が優れた科学者に贈るヘルツバーグメダル (Gerhard Herzberg Gold Medal for Science and Engineering) が、2002年はオタワ大学のファン・セザール・スカイアーノ教授に贈られることに決まった。この賞は NSERC で科学者に贈られる最高荣誉である。125万ドル (9600万円) の賞金は今後5年にわたってスカイアーノ教授の光と分子の相互作用と化学反応に関する研究に充てられる。

記事全文：<http://www.uottawa.ca/services/markcom/news/2002/021125-e.html> (英語)

ロイヤル・ソサエティ・オブ・カナダに新フェロー

(2002年11月22日) ロイヤル・ソサエティ・オブ・カナダ (<http://www.rsc.ca/>) は、新たにダニエル・ウェイナー博士をフェローとして迎える事を決定した。このフェローシップは、カナダ科学界の最高荣誉である。ウェイナー博士は現在 NRC の国立ナノテクノロジー研究所臨時所長を勤める。

記事全文：http://www.nrc-cnrc.gc.ca/newsroom/news/wayner02_e.html (英語)

産学パートナーシップ賞 受賞者発表

(2002年10月28日) カナダ自然科学工学研究評議会 (NSERC) とカナダ協議委員会 (Conference Board of Canada：<http://www.conferenceboard.ca/>) は、シナジー・アワード・オブ・イノベーションの受賞者を発表した。受賞機関には賞金 25000 ドル (約 190 万円) の研究グラントおよび副賞が贈られる。

記事全文：<http://www.nserc.ca/news/2002/p021028.htm> (英語)

サイエンス イベント

水素・燃料電池コンファレンス・展示会

2003年6月8日から11日まで、バンクーバーで水素・燃料電池コンファレンス・展示会が開催される。カナダ水素協会、フュエル・セル・カナダ (Fuel Cell Canada)、カナダ国立研究機構 (NRC) が主催し、700以上の企業・研究者が一堂に会する。バンクーバーは水素エネルギー、燃料電池研究開発の最先端地域として知られている。詳細：<http://www.hydrogenfuelcells2003.com/> (英語)

カナダ水素協会：<http://www.h2.ca>

フュエル・セル・カナダ：<http://ic-ci.nrc-cnrc.gc.ca/main.html>

第一回北米バイオ・パートナーリング

2003年2月9日-11日の期間、過去10年にわたり例年ロンドンで開催されてきたバイオ学会「Bio Partnering」が、今年から新たに「Bio Partnering North America」として北米で開催される。第一回は、カナダ・バンクーバーで行われ、カナダ政府、ブリティッシュコロンビア州政府、カナダのバイオ産業界が全面協力し、17カ国から350のバイオベンチャー、バイオ企業等が参加する。詳細はカナダ大使館 投資・科学技術部 アブロム・サルスバーグまでお問い合わせ下さい。Tokyo.its@dfait-maeci.gc.ca

ホームページ：<http://www.techvision.com> (英語)